

春の特別期間に取り組みます。

【期間】1月1日～2月末
【目標】分会一律5人

組合未加入の仲間がいましたら
ご紹介をお願いします。

土建にいざ

埼玉土建一般労働組合新座支部機関紙

発行所

埼玉土建一般労働組合新座支部
〒352-0011 新座市野火止8-1-27
TEL048(481)1200 Fax048(477)9088
発行人 丸山 政信
編集責任者 岡野 和夫
2月号 定価30円 (購読料は組合費に含まれています)



組織実増に向けて 固い決意を胸に

1月20日(土)に、分会73名が参加して、新座市民会館で、2024旗びらきが行われました。

支部長、組織部長と各分会の代表者たち

西川副支部長の司会進行で、はじめに丸山支部長から「震災があったのでどうしようかと思いましたが、初顔合わせの方もいらつしやるので、おめでどうとあいさつさせて頂きます。壊れた町を直していくのは、我々建設職人だと思えます」とあいさつしました。続いて、来賓あいさつでは、日本共産党新座市議6人全員が壇上に上がり、笠原市議が代表で、「新座市議は、日本で現在一番多い議員数です。2月18日投票で新座市議会議員選挙が行われます」と一人一人紹介してあいさつしました。

その後、佐藤組織部長が、組織建設の訴えで、国保料の値上げが決定していることに触れ、1月23日の拡大分会書記長会議&国保学習会が、この会場で、国保組合から講師を呼んで開催されます。



1等を当てた栄池田分会の原田毅さん

「新座支部の伝統である『学習をチカラ』に、私たちが育て発展させてきた国保組合の現状に向き合い、みんなで学びたいと思えます」と提起されました。その後、小池副支部長の音頭で乾杯をしました。

今年、文化行事を開催しない代わりに、大抽選会で盛り上がりましょうと、山本書記次長と竹本書記の進行で、支部常任が交代で抽選する大抽選会が行われ、1等の豪華賞品は、栄池田分会の原田さんに当たりました。

2等は御成橋分会の細田さん、3等は野火止分会の南さんでした。

分会・青年・主婦・シニアの代表が、今年の決意を各々あいさつし、記念撮影となりました。

そして、廣間書記長のあいさつがあり、島野国保組合事務局次長が紹介されました。

河又副支部長からは「今年も明るく元気に楽しんで、組合活動にいそしみましょう」と閉会あいさつ、藤原副支部長の「新座市議選、市長選挙で要求実現、3年ぶりの組織実増を勝ち取ろう」の団結ガンバローでお開きとなりました。

【野火止 岡野和夫】

今年、元日から能登半島地震という震災から始まり、また野火。被災された方の平穏な日常生活が一日でも早く戻るように願います。震災が起こると自身の防災の備えを見直すこともあると思います。発災時の身を守るために家具の固定の確認、家族との安否確認の決め事等、列挙するときにありませんが、最低でも食糧の備蓄は3日分、出来れば7日分はしておいた方がいいといわれています。避難所に行けば食べるものは何とかなるので、防災倉庫にあるのはアルファ米とペットボトルのみ、在庫分を配り終われば追加が届かなければ、何もなく、町会や防災会の炊き出しも基本避難所を利用する方の持ち寄った食材で作るので、みんなが手ぶらで集まれば鍋釜あっても食べる物はないのです。私自身、数年前から自主防災会に参加するようになってから災害備蓄を意識するようになりました。これだけ災害続きだと楽観的ではいられません。「備蓄ナビ」「イツモ防災」などウェブサイトで自助と共助の強要、公助は最低限だと再確認してください。

【N・K】

主婦の会

新春の集い

新年 初顔合わせは 皆笑顔で

1月20日に支部事務所で新春のつどいが行われました。今年も、映画の上映はせず、午前11時から始まり、会

食中心で交流を深めた会となりました。

小野副会長の挨拶で始まり、「主婦の会は今年も楽しい企画をたくさん計画していく」と話されました。来賓として組合からは丸山支部長と廣間書記長に



南子育て部長のあいさつで乾杯

来ていただき、主婦の会へのお祝いの言葉や組合への協力について話がありました。他団体からは新座市議会議員の石島陽子市議、嶋田好枝市議、小野由美子市議を迎え、代表で

石島市議から带状疱疹の予防接種の補助金が出るようになった事など新座市の市政や取り組みなどを交えた挨拶をいただきました。

食事は分会ごとにテーブルにつき、角上のお寿司をいただきながら、みんなで楽しく歓談しました。その後、各分会から新年の抱負や分会の活動の報告をして、12時半ごろ閉会となり、お土産のお花を持って皆笑顔で会場を後にしました。

【馬場 小野由美子】



丸山支部長からお祝い

動けるうちは 組合活動 頑張ります

1月13日(土)午後6時に「堀天」で石堀分会の新年会が28人の参加で行われました。



支部を引っ張る準備は万全

松田分会書記長の司会で植田分会長から「昨年は分会活動への協力ありがとうございました。今年もよろしく」とあいさつ。続いて支部の書記局から「石堀分会は支部で一番頼りになる分会です。年間実績達成のため新座支部を引っ張って下さい」とあいさつ。丸山支部長からは

【石堀 西川久治】

堀天で 英気を養い

「石堀分会の結束力は支部で一番です。今年も一年間ご協力をお願いします」と訴えがありました。来賓の笠原市議は「市議の中で最長老になりましたが、もう一期頑張りたいと思います」とあい

1月7日(土) 11時半より御成橋分会新年会を寿司割烹堀天にて30人の参加で行われました。

応援を力に見事優勝

し、応援1人の万全の体制で参加しました。

12月20日(水) 21支部104名(ゲーム参加者85名)が参加して、埼玉土建本部シニア友の会ボウリング大会が、新狭山グラウンドボウルで開催されました。

優勝した新座支部のメンバー

11月20日(月) C Kボウル新座で新座支部予選会を開き、上位4人を選手と

結果は、高橋明雄さんが3位、岡野和夫さんが10位、松田尚さんが40位と、出場した4人の内3人が受賞となりました。団体では、応援の20ポイントも加わり、優勝することが出来ました。優勝カップには、「第1回優勝・新座支部」と刻ま

⇒橋本組織部長の乾杯
ここに有りとアピールすることができました。
来年の開催は未定ですが、連覇を目指してボウリング同好会が結成されるようです。来年も優勝を目指して欲しいです。
【野火止 岡野和夫】



【御成橋 小池直樹】

葛城分会長より「本年もよろしくお願います。元旦の震災など年始から悲しいことがありましたので、おめでとうはひかえませんが、この場では、新年の英気を養うためにも楽しんでいただければと思います。」と年頭あいさつがあり、橋本組織部長より乾杯を行いお料理とお酒を楽しみました。



核兵器の恐ろしさを後世に

原爆の恐ろしさを知り 平和運動の大切さを学べた

十二月二日から二日

間に渡って開催された次世代青年学習交流集会は六十一人の参加で行われました。当日は東京駅から新幹線で広島まで約四時間の移動を経て現地に到着、最初に広島平和記念資料館での学習を行いました。資料館では原爆が投下され一瞬で人々を消し去った情景を目の当たりにしました。中でも、原爆によってボロボロになってしまった子どもの服や、溶けて錆付いた三輪車、ずっと大切に握りしめられていたベルトなどが印象的です。見学後は碑をめぐる、ガイドさんの案内でそれぞれの碑の説明を聞きました。慰霊碑の中には「原爆犠牲建設労働者・職人之碑」というもの

もありました。

原爆ドームがほぼ爆心地の場所にもかかわらず、今もなお残り続けているのは、あの日の広島の人々の助けと核兵器の恐ろしさを後世にも伝えることを願っているように見えました。

被爆体験講話で話を聞いて頂いたのは現在八十三歳の太田和郎さんという方です。当時幼かったころの貴重な体験のお話をしてくれました。

初日の夜は他支部との交流も深め、貴重な時間となりました。

二日目は湯来町にて「黒い雨」に関して学習を行いました。「黒い雨」による被害や、認定区域外により被害者として認められなかった人たちの話は様々な被害をもたらす原爆の恐ろしさ、そして被害にあわれた方々のつらい経験を知ることができました。

この二日間を通して改めて原爆の恐ろしさと悲惨さ、平和運動に取り組む大切さを学びました。

No.7 労働安全ニュース

安全標語コンクールを 開催しました

仲間の安全意識を高める災害防止活動の一環として「労働安全標語」の募集をしました。12月の支部労働安全衛生委員会内で審査をおこなった結果、次の結果となりました。なお、応募いただいた全ての作品を「全建総連」の安全標語コンクールにも応募しました。結果は別途お知らせします。



【応募総数】 36作品

【審査結果】

最優秀賞
面倒と 思う心に

(御成橋・高橋利夫さん)
事故・災害

優秀賞

だろー・だった

それがもともと 事故の元
(御成橋・松尾一さん)

佳作

まあいいや

思う心が 事故招く
(御成橋・菅沼啓友さん)

労災事故に
あったとき
困らないために

特別加入の「給付基礎日額」は 適正な金額を選びましょう！

給付基礎日額(円)	加入人数(人)	加入割合
3,500	311	32.0%
4,000	27	2.8%
5,000	51	5.3%
6,000	208	21.4%
7,000	9	0.9%
8,000	47	4.8%
9,000	3	0.3%
10,000	182	18.7%
12,000	42	4.3%
14,000	14	1.4%
16,000	25	2.6%
18,000	18	1.9%
20,000	32	3.3%
22,000	0	0.0%
24,000	1	0.1%
25,000	1	0.1%
合計	971	100.0%

事業主・一人親方労災特別加入の「給付基礎日額」は、労災事故や通勤災害にあった際、休業補償の計算のもとになる金額になります。また、支払う保険料を決めるための金額にもなります。新座支部の特別加入者のうち3割以上の仲間が、最も補償が少なく、保険料の安い「3500円」を選択しています。これでは、いざ労災事故で働けなくなつたときに、1日2800円しか給付されません。最近、現場によっては「日額が1000円以上でないと現場に入れない」という事例もあります。一度選んだ日額は、毎年「年度更新」の際にしか変更できません。もうすぐ更新案内が届く時期です。加入・更新の際の日額は、目先の保険料だけでなく、もの時の生活の補償等をよく考えて選択しましょう。

